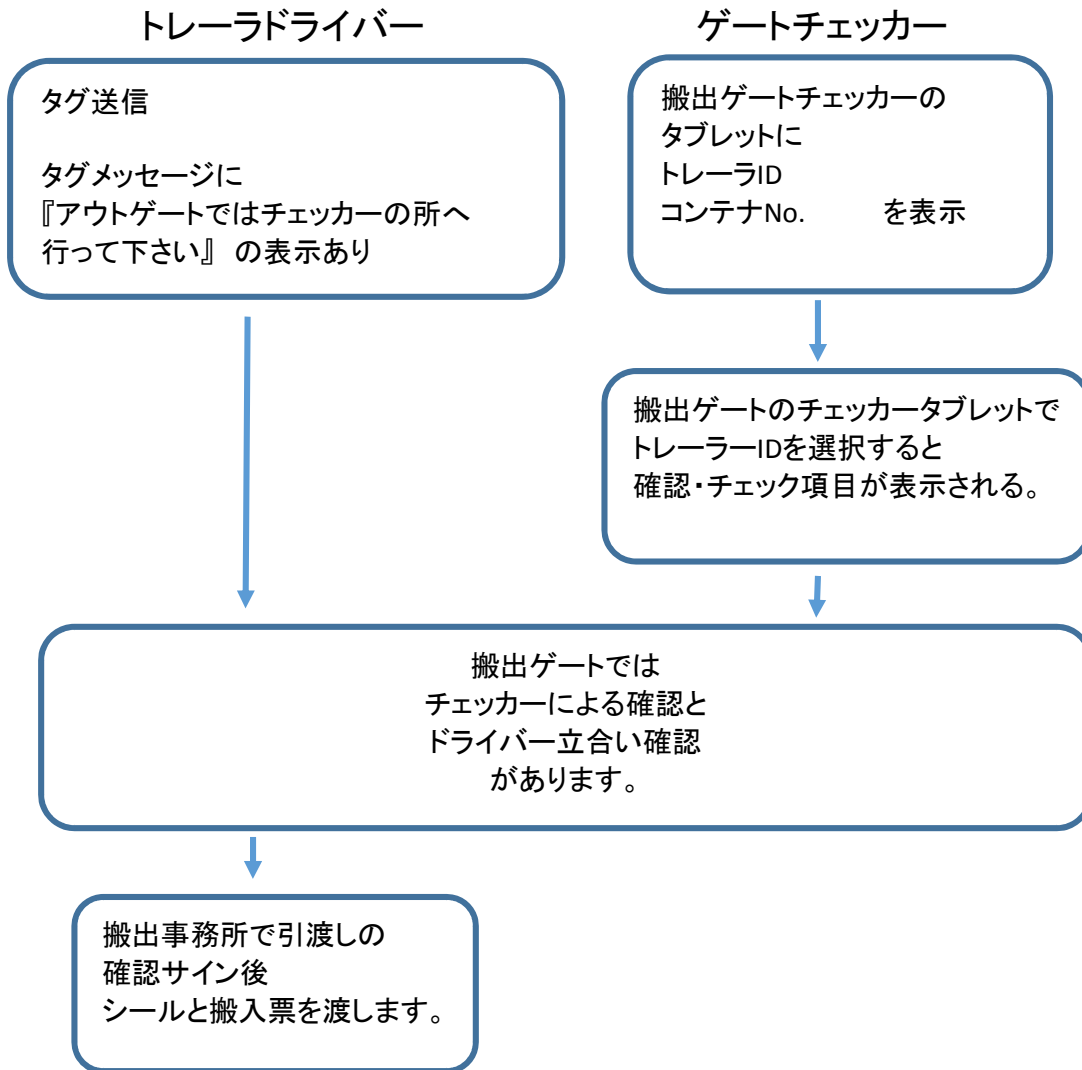


空ピック運用変更

2015.02.18

鍋田実務委員会

- ①現状 空ピック時にRFIDタグを使用して受付を行っても、搬出時のチェックがある場合(チェック票、含水率計測)はクレーク受付となり、トレードライバーは降車してクレークでチェック票等を渡しておりました。
- ②今後 搬出ゲートではチェッカーにタブレット端末を持たせ、搬出時のチェック指示を行うため、受付時にクレークに寄る必要がなくなりました。
その場合、受付時のタグに『アウトゲートではチェッカーの所へ行ってください』のメッセージが出ますので搬出ゲート前でチェッカーの指示を受けて下さい。



③運用開始日 : 3月30日を予定していますがその前にシステム導入時点で協力をお願いするかもしれません。

④ピックアップオーダーナンバーの運用拡大について

- RFIDタグのリプレースを行う際に、鍋田ターミナル内全店社での【Pick up Order 番号】運用に関するお願いを受けておりました。
現状は5社が発番を実施中で残りの2社がシステム構築中であり、直近の調査におけるコンテナ全体の発番率は約85%となっております。
しかしながら、発番した番号の中で実際に利用されているのは全体の約30%に留まっております。
今後は利用出来ない(しない)理由を調査し、利用率を上げる取り組みを行うと共に、全店社での運用を行い、効率的な鍋田バンプールの運用を図って参りますので、その際はご協力をお願い致します。

以上